

公募制推薦選抜〔基礎学力テスト型〕 国語 解答

解答番号	正解
1	③
2	⑤
3	④
4	①
5	③
6	②
7	⑤
8	②
9	①
10	③
11	④
12	③
13	⑤
14	①
15	④
16	③
17	④
18	②
19	①
20	②

解答番号	正解
21	③
22	①
23	⑤
24	④
25	②
26	①
27	④
28	③
29	⑤
30	②
31	④
32	①
33	④
34	⑤
35	②
36	⑤
37	③

公募制推薦選抜〔基礎学力テスト型〕 国語 出題の意図

大問番号	出題の意図（大問ごとに100字程度）
1	小説（宮下奈都「夕焼けの犬」（『遠くの声に耳を澄ませて』所収））から出題し、場面の変化や登場人物の心情の読み取りができるかといった、基礎的な読解力を確認する設問である。また、漢字や言葉の意味といった国語の基礎知識を問う設問を出題した。
2	評論（吉岡洋『AIを美学する なぜ人工知能は「不気味」なのか』）から出題し、文章全体の論理や主旨、筆者の考えを的確に捉えることができるかといった、基礎的な読解力を確認する設問である。また、漢字や言葉の意味といった国語の基礎知識を問う設問を出題した。
3	随筆（古井由吉「通俗ということ」（『古井由吉エッセイ撰 私のエッセイズム』所収））から出題し、文章全体の論理や主旨、文脈の中での語彙の意味や筆者が伝えようとするニュアンスを的確に読み取れるかといった、基礎的な読解力を確認する設問である。また、漢字や言葉の意味、文学史といった国語の基礎知識を問う設問を出題した。